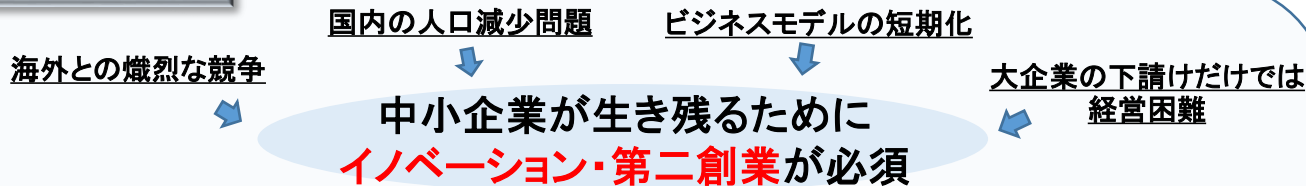


新たな中小企業支援策・Settsu-bizの実現に向けて(概要)

1. 中小企業の課題



多様な課題が山積する現在の中小企業には、持続可能な経営のために、①ES(従業員満足)の追及、②技術の特化③顧客サービスの追及等によるイノベーション・第二創業での競争優位(差異化とコスト競争力)の獲得が必要

銀行等の指導は公共性に限界

経営者の学ぶ時間がない

民間コンサルタントは費用大

実際には多くの中小企業は第二創業成功への

行政は補助制度中心の中小企業支援策
(単発的、補助金主体など)

失敗が倒産につながる状況

ビジネススキルが不足

中小企業経営のかじ取りはより厳しくなり、売上低迷、事業継承困難、雇用と納税の低迷

**中小企業に、創造的なビジネススキルを提供する
ビジネスコンサルティングは、時代・市民ニーズである。**

2. 本市の現状

創造的なビジネスコンサルティングができる組織・人材の不足

イノベーション・第二創業に二の足を踏む企業や、イノベーションを行ってもマーケティングの苦戦などで売上が伸びない企業が散見。既存制度では新商品開発、販路開拓などの経営サポートができていない。中小企業の衰えは、中小企業のまちである本市の活力低下につながる。(地域力の低下、財政力低下など)

**今、時代ニーズに応え、中小企業のまち摂津
を活性化する起爆剤が必要(10年後は手遅れ)**

①企業が廃業する前に対策が必要、②国は2027年まで事業承継税制の拡充(今後9年の間で円滑な事業継承が必要)

3. 課題解決策

創造的なビジネススキルを提供し、高い実績と信頼性、継続性を有する

「富士市産業支援センターf-biz」モデルの導入

(公によるビジネスコンサルティング業)

- ・2008年8月静岡県富士市 富士市産業支援センターf-Biz設立
- ・特徴：年収1200万円 **ビジネススキルを持った優秀な人材**をセンター長に採用・育成
- ・内容：起業支援、第二創業支援、円滑な事業継承、(補助制度の活用)などの中小企業経営のトータルサポート
- ・例：岡崎ビジネスサポートセンター、相談1カ月待ち、リピーター率87%、行列のできる中小企業相談所として評価
- ・現在までに全国25自治体が導入(大阪府内では、2017年大東市、2020年岸和田市が導入)

4. 期待される効果

市内中小企業の売上げ、雇用と納税の増大

(仮称)Settsu-biz設置による中小企業活性化の実現

- ・摂津市産業支援センターSettsu-bizの設置(例：センター長1人、事務員2人)
- ・導入の目的：産業のまちとしての維持とその活性化
- ・予想される効果：①**市内中小企業の持続可能な経営と円滑な事業継承**、②起業者の増加(商工会加入企業増加)
- ③**地域の活性化**(特に中小企業立地の多い鳥飼地域)、④他市企業とのマッチングなど